

The Changing Coverage of Major League Baseball by the Japanese Media: NHK and Internet Broadcasts

1K10C236-6 高田 丞

主査 リー・トンプソン 先生

副査 石井 昌幸 先生

【目的】

メジャーリーグベースボールの試合中継は、昔からNHKBSで放送が行われていた。そして、メジャーリーグのパイオニア的存在である野茂英雄選手や、イチロー選手、松井秀喜選手ら日本人スター選手が海を渡り、メジャーリーグベースボールに挑戦し、素晴らしい成績を残すようになると、日本におけるメジャーリーグベースボールの人気は上昇し続け、今ではNHKにおける目玉コンテンツまで成り上がった。また、NHKではメジャーリーグベースボールの試合中継のほかにも、活躍した日本人選手の好プレー集や、特集番組、ドキュメンタリーなどの番組もたびたび放送されるようになった。しかし、最近のNHKではテキサス・レンジャーズのダルビッシュ有選手やボストン・レッドソックスの上原浩治選手、ニューヨーク・ヤンキースの黒田博樹選手ら日本人選手の活躍の他にも、メジャーリーグベースボールの中で活躍をしたアメリカや、中南米出身の選手たちを取り上げてフォーカスした番組の放送を行ったり、深夜にはメジャーリーグベースボールの好プレー集や、特集番組を集めた専門の番組まで放送されるようになった。このようなNHKやインターネットによるメディア報道の移り変わりの背景に、アメリカと日本における野球人気の移り変わりなどが見受けられるのではないかと思い、調査、分析、考察を行った。

【方法】

メジャーリーグベースボールで活躍したと思われる日本人選手（野茂英雄選手、イチロー外野手、松井秀喜外野手、松坂大輔選手、ダルビッシュ有選手）のメジャーリーグベースボール在籍一年目のシーズン（1995年4月25日から10月28日、2001年4月1日から11月4日、2003年3月30日から10月25日、2007年4月1日から10月28日、2012年3月31日から10月28日）を調査期間とし、メジャーリーグベースボールの関連の新聞記事の量を年ごとに調査し、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞の全国版の朝刊を対象とし、比較した。また、先述の調査期間においてテレビ番組欄の調査（コーディング）を行い、年ごとに比較・検証も行った。

【結果】

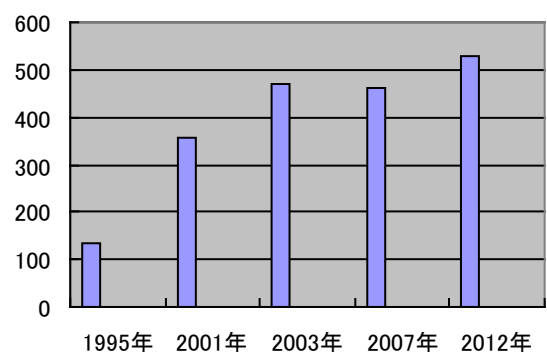
読売、毎日、朝日の三つの新聞社とも、2007年までは新聞の記事が増加しているが、2007年から2012年にかけて記事の数が減少したという面白い結果がでた。また、番組数が1995年から2012年の順にメジャーリーグベースボールの番組数が多くなっているのが検証された。

また、番組内容では、2003年を境に試合中継の割合が過去に比べ減少する傾向がみられた。これは日本人選手の特集や、ドキュメンタリー番組に加え、チームや選手個人の特集、好プレー集などを集めた番組などが増加したことが理由の一つとして挙げられる。

また、日本人選手が所属していないチーム同士の試合中継や、外国人メジャーリーガーのみにスポットライトをあてた特集、好プレー集を集めた放送も増加した。

【考察】

調査の結果を踏まえ、今後メジャーリーグベースボールの報道、特にインターネットを利用した放送や試合中継はますます増加していくことが予想される。これは、メジャーリーグベースボールのビジネス拡大のためにインターネットを使ったオンラインビジネスを展開する大きな動きがあることや、時代の流れや、人々の生活や環境の変化が理由の一つに挙げられるからであろう。これに伴いメジャーリーグベースボールの放送や報道の仕方は、今後常に大きく変化していくと筆者は考える。



読売新聞縮刷版を参考に筆者作成